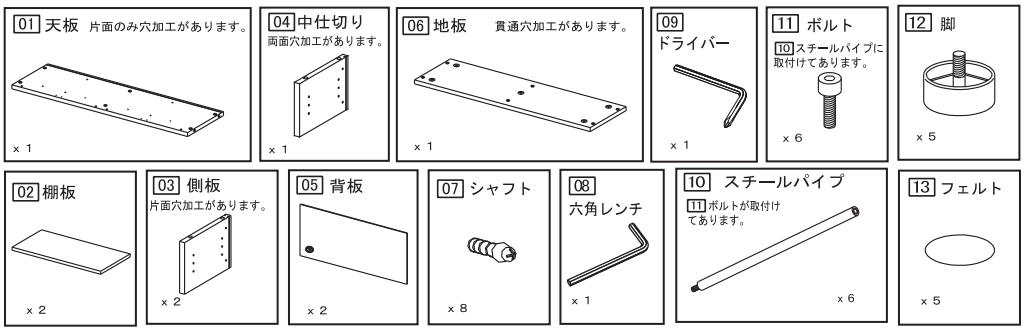
無印良品
スタッキングキャビネット サイドボードDセット
仕切り板・木製扉付　組立・取扱説明書 保存用

この度はスタッキングキャビネットをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
この商品を末永く安全にご利用いただくために、本書及び別紙の取扱説明書をよくお読みいただき正しく組み立て使用してください。また本書はいつでも取り出せるように大切に保管してください。

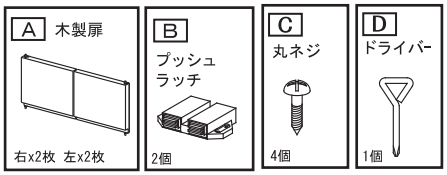
⚠注意 組立てについてのご注意

※組み立てには十分なスペースを確保し、敷物等をして床や既存の家具に傷が付かない様注意して行ってください。
※組み立ては必ず２名以上で行ってください。
※本体を起こす際は、商品に傷が付かない様、敷物等をして保護してください。
※ご使用後、一週間程経過しましたらボルトをきつく締め直してください。
※ボルトやスチールパイプにゆるみがないか定期的に点検し、安全をご確認の上ご使用ください。

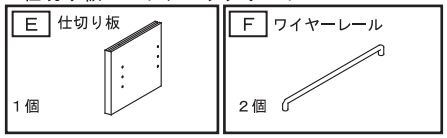
■〔基本セット〕パーツチェックリスト



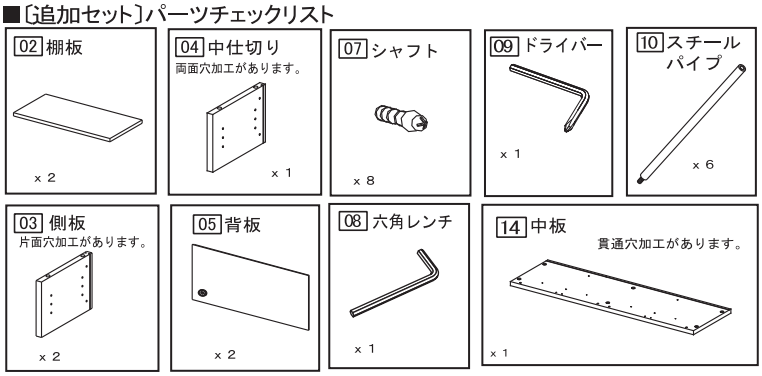
■木製扉パーツチェックリスト



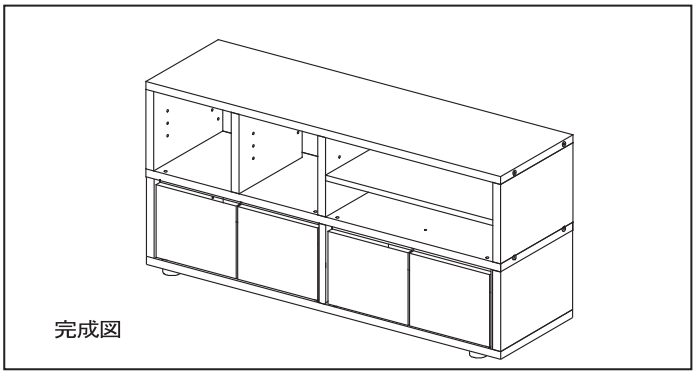
■仕切り板パーツチェックリスト



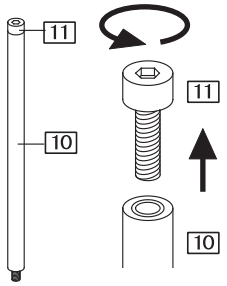
■〔追加セット〕パーツチェックリスト



※追加セットのパーツ番号は、基本セットに合わせたものです。ご注意ください。



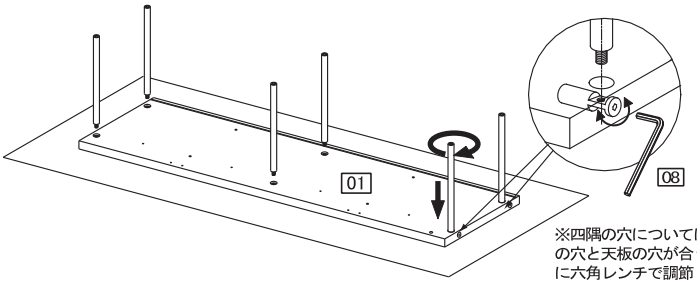
＜組立て準備＞



10 スチールパイプと 11 ボルトを全て取り外してください。
外したボルトは工程 10 で使用します。

1

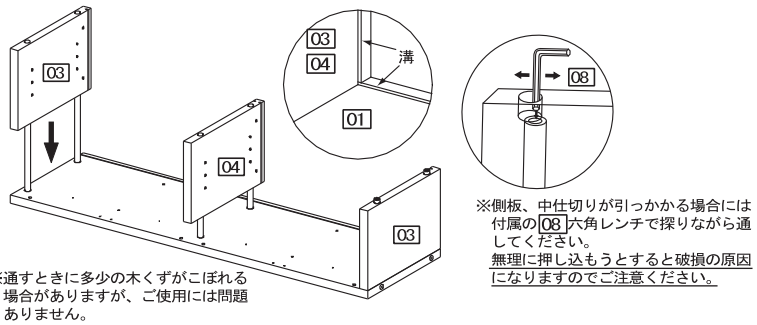
敷物などの上に 01 天板を置きます。
天板のナットに 10 スチールパイプをねじ込みます。



※四隅の穴については金具の穴と天板の穴が合うように六角レンチで調節してください。

2

10 スチールパイプに 03 側板 04 中仕切りを通します。
※その際 01 天板と 03 側板 04 中仕切りの溝位置が合うように注意してください。



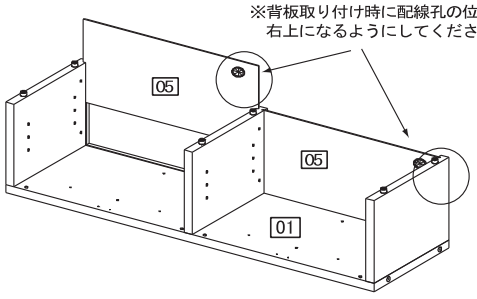
※通すときに多少の木くずがこぼれる場合がありますが、ご使用には問題ありません。

※側板、中仕切りが引っかかる場合には付属の 08 六角レンチで探りながら通してください。
無理に押し込もうとすると破損の原因になりますのでご注意ください。

3

03 側板 04 中仕切りの溝に合わせて 05 背板を差し込みます。
05 背板は天板の溝にしっかり入るまで差し込んでください。

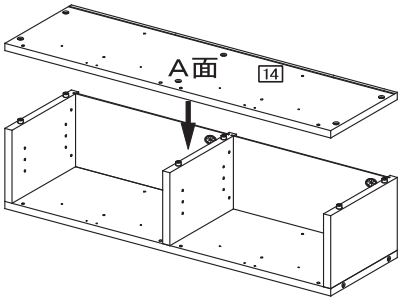
※背板取り付け時に配線孔の位置は正面から向かって右上になるようにしてください。



※天板溝に背板が入りずらいときは、背板を前後から軽くたたきながら差し込むと入りやすくなります。

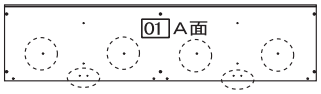
4

取り外した地板の場所に 14 中板を乗せます。このとき中板のＡ面を上側にして設置してください。中板の貫通穴と 10 スチールパイプの位置を合わせ設置します。

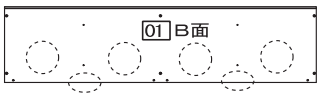


14 中板には表裏があります。取り付けの際はご注意ください。

丸の場所に
穴加工有り⇒A面

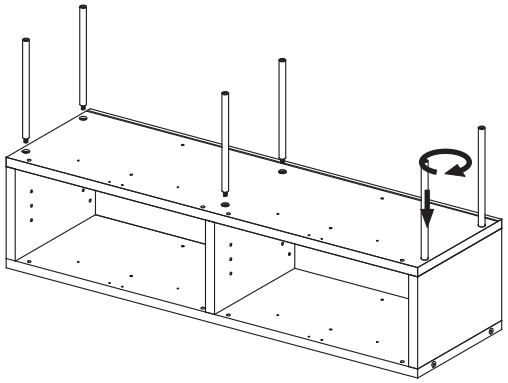


丸の場所に
穴加工無し⇒B面



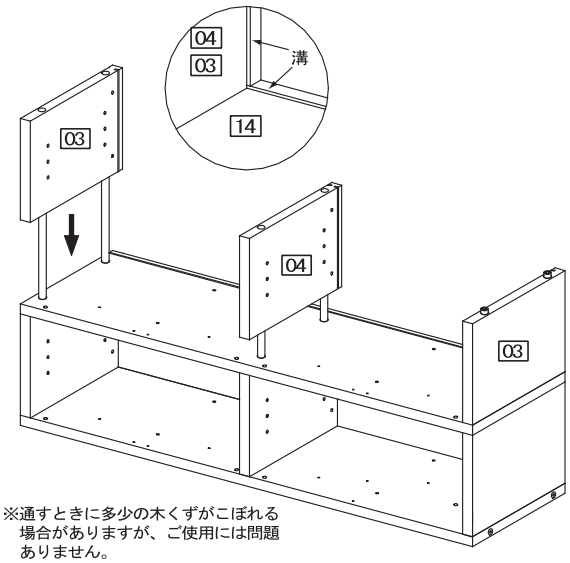
5

10 スチールパイプを14 中板の貫通穴に手でねじ込みます。
※全てねじ込んだ後、もう一度きつく締まっていることを確認してください。



6

10 スチールパイプに03 側板04 中仕切りを通します。
※その際14 中板と03 側板04 中仕切りの溝位置が合うように注意してください。

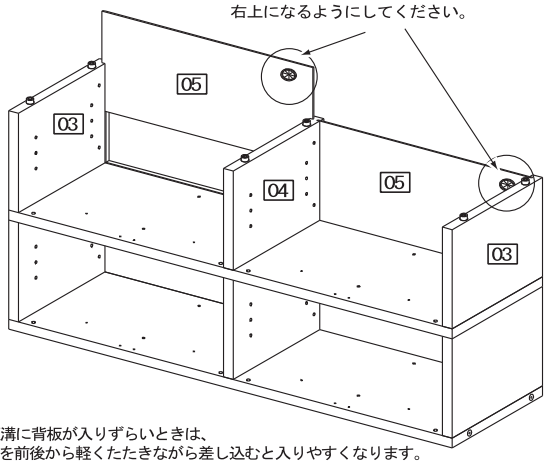


※通すときに多少の木くずがこぼれる
場合がありますが、ご使用には問題
ありません。

7

03 側板04 中仕切りの溝に合わせて05 背板を差し込みます。
05 背板は中板の溝にしっかり入るまで差し込んでください。

※背板取り付け時に配線孔の位置は正面から向かって
右上になるようにしてください。



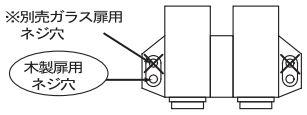
※中板溝に背板が入りずらいときは、
背板を前後から軽くたたきながら差し込むと入りやすくなります。

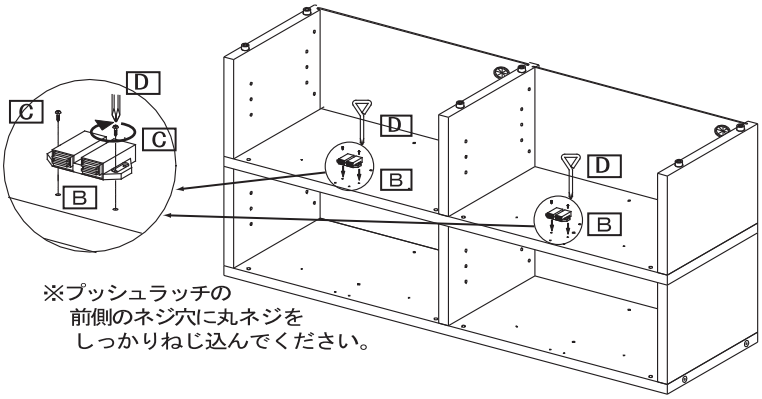
8

B プッシュラッチをC 丸ネジを使い14 中板の前面左右中央付近にある２個の穴にしっかり固定してください。

⚠ 注意 プッシュラッチ取り付け注意事項

プッシュラッチの丸ネジ取り付け
位置は前後に２箇所あります。
木製扉を設置する場合は必ず
前側のネジ穴２箇所に丸ネジを
取り付けてください。

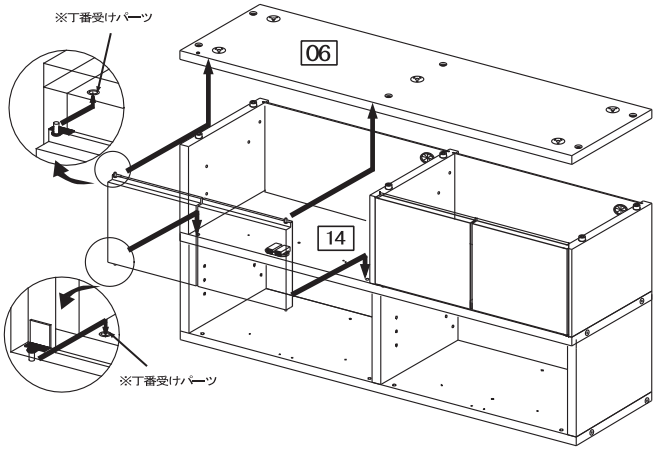




※プッシュラッチの
前側のネジ穴に丸ネジを
しっかりねじ込んでください。

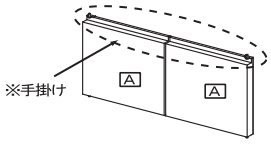
9

A 木製扉の丁番を14 中板と06 地板の丁番受け（黒い樹脂パーツ）に差込ます。



⚠ 注意 木製扉取り付け向き注意事項

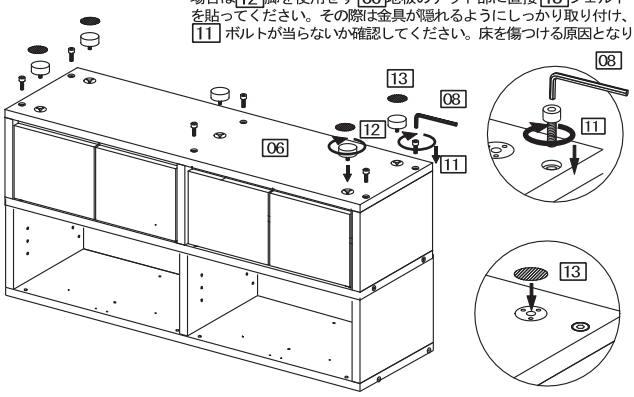
※組立て時は手掛けの
ある方を上側に向けて
木製扉を取り付けて
ください。



10

木製扉がしっかり取り付けられていることを確認した後、10 スチールパイプに11 ボルトをねじ込み、08 六角レンチを使ってしっかりと締めこみます。
その後 06 地板のナット部に12 脚をねじ込みます。
12 脚の底面に13 フェルトを貼り付けます。

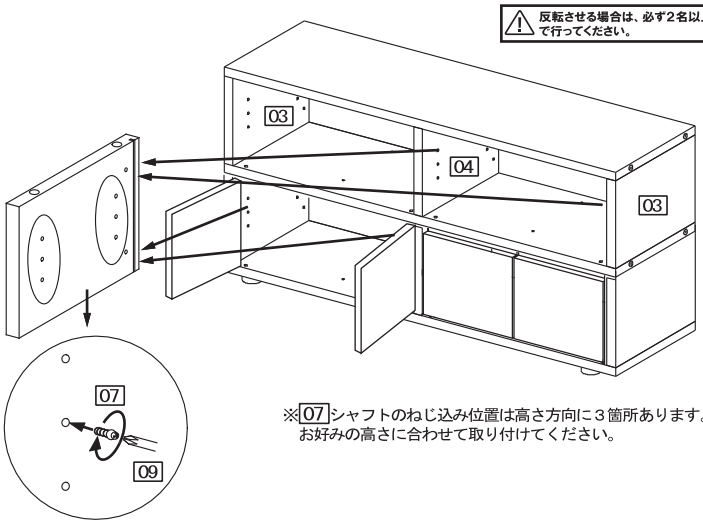
※別売の「スタッキングシェルフ」と横並びにして高さを合わせたい
場合は12 脚を使用せず06 地板のナット部に直接13 フェルト
を貼ってください。その際は金具が隠れるようにしっかり取り付け、また
11 ボルトが当らないか確認してください。床を傷つける原因となります。



11

本体の向きを逆さにし02 棚板を取り付ける準備として07 シャフトを03 側板と04 中仕切りに09 ドライバーのプラス側を使用してねじ込みます。

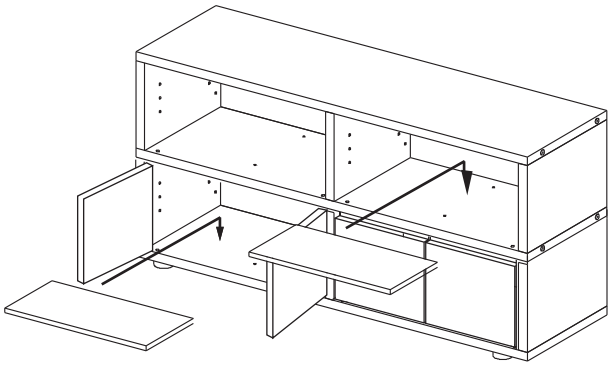
⚠ 反転させる場合は、必ず2名以上で行ってください。

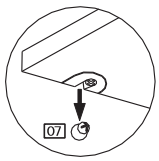


※07 シャフトのねじ込み位置は高さ方向に３箇所あります。
お好みの高さに合わせて取り付けてください。

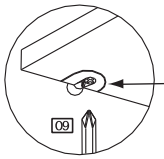
12

02 棚板下部の金物部分と 07 シャフトの位置を合わせ 02 棚板を落とし込みます。
02 棚板は最後に軽くたたいて落とし込んでください。

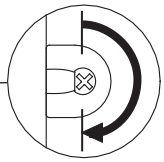




※07 シャフトの位置と 02 棚板下部の金物の位置を合わせ落とし込みます。



※02 棚板がしっかりと落とし込まれたら 09 ドライバーのプラス側でしっかりと締め込みます。

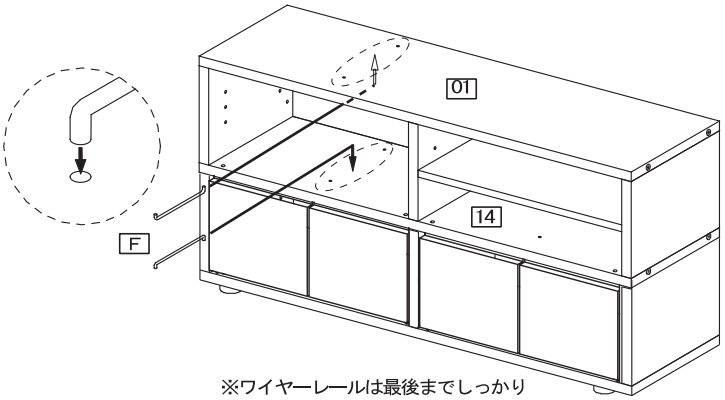


１８０度回転

※ネジは時計回しに１８０度回転するまでしっかりと締め込んでください。

13

F ワイヤーレールを基本セット 01 天板 14 中板のワイヤーレール用穴に差し込んでください。



※ワイヤーレールは最後までしっかり押し込んでください。

⚠ 注意 棚板設置時の注意事項

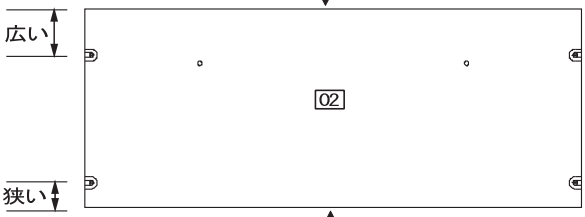
02 棚板は別売パーツの取り付けパターンによって前後の取り付け向きを変更する必要があります。
下の注意事項をご確認いただき正しく設置してください。

※別売の「引出し（大）」を設置される場合
幅の広い方を前に設置してください。

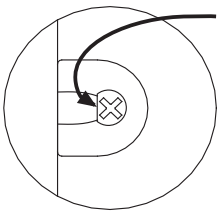
※別売の「木製扉、ガラス扉」を設置される場合
幅の狭い方を前に設置してください。

※別売の「仕切り板」を設置される場合
棚板を設置できません。

引出し（大）を設置するとき前側

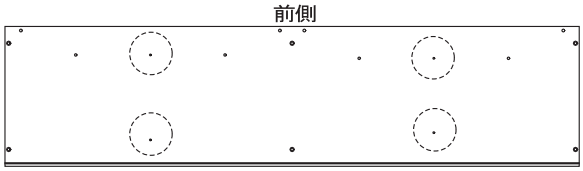


木製扉、ガラス扉を設置するとき前側



※カムロックのねじの平らな部分が外側になっていることを確認してください。

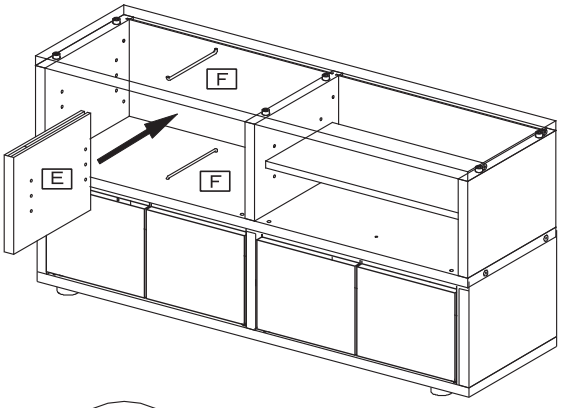
※別売の引出（大）を設置されたい場合は必ず 07 シャフトは３箇所のうちの真ん中に取り付けてください。

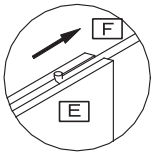


天板、地板ワイヤーレール取り付け位置

14

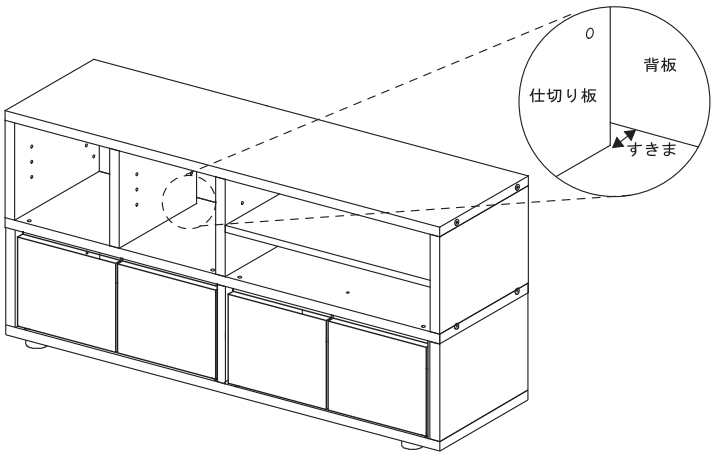
E 仕切り板上下にある溝と F ワイヤーレールの位置を合わせ E 仕切り板を正面から水平に差し込むように設置してください。
E 仕切り板は最後までしっかり押し込んでください。





※仕切り板の溝とワイヤーレールの位置を合わせ差し込みます。

15 完成図



※最後まで押し込んだあと仕切り板と背板の間に隙間ができますが、こちらは配線時にご使用いただくもので商品不良ではございません。